



いのちの水 生きている川

～みんなの手で、かながわの水を守り、育て、つなげよう～

このリーフレットでは、県内各地の小・中学校における川や池、水を題材にした学習の実践例を紹介しています。川や池には多くの生き物が生活し、それらは私たちの生活を豊かにするとともに、潤いを与えてくれています。学校や地域での自然の観察や生き物の飼育などを通して、生き物の誕生や成長、生命の大切さについて学んでいきましょう。

また、自然の仕組みの素晴らしさを知るとともに、私たちのいのちの源である、水について調べたり、限りある水資源を大切に守っていくことについて考えたりしていきましょう。

見つけたよ！小さいきもの

井ノ口小学校の学区には、厳島湿生公園があります。ここは水辺の生きものとも触れ合うことのできる、自然豊かな公園です。子どもたちにとっては、身近な遊びの場であり、学習の場でもあります。

そこで、生活科の学習では、1・2年生と一緒に生き物さがしをしました。誰が一番大きいコオロギをつかまえるか夢中で追いかける中、住処はどこにあるのか、そこにはどんな植物が生えているのか、オスメスの区別はあるのかなど様々なことを教え合う姿が見られました。

総合的な学習の時間には、「人・もの・こと」の3つの視点で町のよいところを探しました。子どもたちは、出会った陸生・水生の生物のアブラハヤ・モツゴなどの魚や18種類もの鳥などをスケッチしたり、わからないことを詳しい人に聞いたりして、中井町大好き図鑑にまとめました。



公園内を散策する様子



つかまえた生き物を観察する様子

このような学習を通して、どの児童も中井町の「豊かな自然」のすばらしさに気づき、今後も大切にしていきたいという思いをもつことができました。

(中井町立井ノ口小学校)

酒匂川水系メダカの保全活動

白山中学校では2016年から部活動の一環として酒匂川水系メダカの飼育・繁殖活動を行っています。

職員玄関には酒匂川水系メダカとヒメダカを比較できる水槽を設置し、酒匂川水系メダカの保全の必要性について伝える活動を行っています。また、年度初めには科学・パソコン部の部員に対して

顧問から「酒匂川水系メダカを保全する目的」

「酒匂川水系メダカとヒメダカの遺伝子の

違い」「交雑すると元に戻らない」ことに

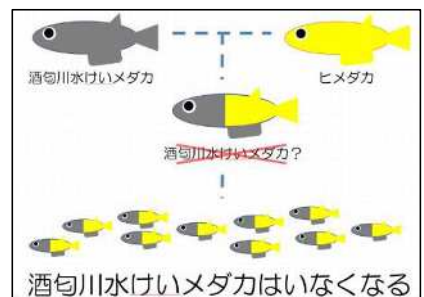
ついてスライドを用いて説明し、活動目的

や注意点を共有しています。

(小田原市立白山中学校)



職員玄関のメダカ水槽の管理



酒匂川水系メダカの保全を説明するスライド

～川はかせになろう～

寄地区には、中津川と虫沢川が流れています。4月、「川にどんな生き物がいるのかな？」
「川はどこから流れてくるのかな？」「2つの川に違いはあるのかな？」と、多くの疑問を出し
合って「川はかせになろう」と課題づくりをしました。

水生昆虫調べは、時期や場所を変えて計4回行い、カゲロウやヘビトンボ、プラナリア、ト
ビケラ、カジカなどを捕まえました。学校に帰って図鑑で調べると、綺麗な川にしかない生き
物ということが分かりました。そのことをタブレットで、オリジナルの「中津川・虫沢川生き物
図鑑」にまとめました。

次に、県の森林インストラクターさんの案内で、やどりき水源林へ行きました。川の水は小さ
な沢や湧き水が集まって流れてくること、森林涵養実験によって手入れされた森林が豊かで美し
い川を育むことを学びました。この活動を通して、綺麗な中津川と虫沢川を保っていかなければ
ならないと考えた子どもたちは、3度のごみ拾い活動に出かけ、たくさんのごみを集めました。

まつだちようりつやどりきしょうがっこう
(松田町立寄小学校)



すいせいこんちゅうしら
水生昆虫調べ



すいげんりん しんりんかんようじっけん
やどりき水源林での森林涵養実験



なかつがわ むしざわがわい ものずかん
中津川・虫沢川生き物図鑑

みなと かんきょう うみ かんきょう 港の環境、海の環境

港小学校区には、相模川の河口と平塚海岸があります。夏には、地域ぐるみの海岸清掃が行
われ、子どもたちが家族の方とたくさん参加しています。

そこで、4年生の社会科「健康や生活環境を支える事業」の学習では、環境事業センターや
寒川浄水場の見学などを通して、もっと自分達に身近な港地区の環境について考えることに
しました。まず、プラスチックごみ問題についてのボランティア活動をされている方のお話を聞
きました。そのお話から、プラスチックごみが海の生き物に及ぼす影響を知ることができまし
た。このことから「港地区の海岸のプラスチックごみはどうなっているのだろう」「街にはどん
なごみがあるのだろう」と興味を持ち、総合的な学習の時間の取り組みをスタートしました。

学習のはじめには、海岸清掃に出かけ、ペットボトルのふたや生活用品のプラスチックごみ、
たばこの吸い殻などをたくさん拾いました。他にも学校の周りにも空き缶やたばこの吸い殻など
が多くあることが分かりました。このように、様々な活動を通して、ごみを減らすことを目指し
自分達も使っているプラスチック製品を減ら
すためにできることを考えたり、少しでも
海岸のプラスチックごみが減るように海岸
清掃に取り組んだりすることにしました。

ひらつかしりつみなとしょうがっこう
(平塚市立港小学校)



かいがんせいそう ようす
海岸清掃の様子



あつ まち
集められたゴミ

しょうがっこう すいぞくかん 小学校に水族館を

かなめがわすいけいりゅういき ぜんめんきょうりよく とくべつかつどう かつどう かなめがわ い もの
金目川水系流域ネットワークの全面協力のもと、特別活動のクラブ活動「金目川の生き物クラブ」には、20名を超える子ども達もが在籍し、日々活動しています。

クラブの時間には、金目川の生き物を知るために、金目川水系に詳しい金目エコミュージアムの露木さんをお招きし、お話をしてもらっています。

また、体験学習として年間5回を超えて川に入り、たくさんの魚を捕まえました。1回目はなかなか捕まらなかった魚も、回を重ねるごとにバケツいっぱいになりました。このように、夏の暑い日差しのもとで汗をかき、真剣に水面を見つめる子ども達は、童心をキラキラと水面に反射させているかのようでした。

子ども達は金目川の楽しさを存分に味わったあと、その魅力を校内に広めたいと考えました。そこで「かなめアクアリウム」と題し、理科室で1日限定の水族館を開催しました。当日見学に来た下級生達は、照らされる美しい魚に興味津々の様子でした。そこで「すべて金目川の魚だよ」とクラブの子ども達が誇らしげに伝え、「じゃあ川はきれいにしないとね」と下級生からの返答があり、その瞬間、金目川の歴史がまた一つ、つながった時となりました。(平塚市立金目小学校)



つゆきし かわ
露木氏による川のレクチャー



かなめがわ さかなさが
金目川で魚探し



かなめしょう き うつく さかな
金目小に来た美しい魚たち

うみ だいすき！ゆがわらの海

かながわけん せいなんたん いち ゆがわらまち やま うみ かわ しぜんゆた すば かんきょう
神奈川県西南端に位置する湯河原町は、「山」「海」「川」と自然豊かな素晴らしい環境です。その自然環境の中で、総合的な学習の時間において、湯河原の「海」について着目し、学習を展開してきました。まず、ゲストティーチャーとして(NPO法人)ディスカバーブルーのみなさんをお招きして、地元の湯河原町の吉浜海岸に行き、砂地にいる生物をいろいろと調査しました。次に真鶴町の三ツ石海岸に行き、生物や海辺の環境について「見たり」「触ったり」「感じたり」することで学習を進めてきました。

その学習を通して、今まで知っているようで知らなかった「海」のことを知ることができました。これらのことから、身近に存在している私たちの「海」は、とても素晴らしいものであるということに改めて気づくことができました。また、学習の後に、祖父母の家の近くの「海」や旅行先の「海」にも興味を持ち、湯河原の「海」と比べている子もいました。

この様々な学びをとおして、湯河原の「海」を今後も大切にしていきたいという強い気持ちになりました。

ゆがわらちようりつよしはましようがっこう
(湯河原町立吉浜小学校)



よしはまかいがん い もの み かたこうわ
吉浜海岸で生き物の見つけ方講話



み いしかいがん い ものかんさつ
三ツ石海岸での生き物観察

玉川たんけん

愛甲小学校は、厚木市の南西部に位置し、周辺は田んぼや梨園などに囲まれ近くは玉川が流れる場所に位置しています。そこで、総合的な学習の時間を通して、「大好きな愛甲地区を守りたい」をテーマにし、身近な玉川に親しみながら、自然やそこに棲む生き物を知るために、講師の先生方をお招きし採集した生き物の名前や生息している場所、特徴などを説明していただきました。また、子どもたちは陸上の植物についても、季節ごとに咲く花が違ふことや花ごとに「花言葉」というものがつけられていることに興味をもっていました。

他にも、玉川の生き物について、川エビなどが生息する川の縁側でタモを使って採集する方法や石の下の水生生物のを見つけ方などを教えていただきました。この採集活動に取り組む中でモクズガニやテナガエビなどを見て、子どもたちから「すごーく大きい!」「意外とゴツゴツしている!」などの歓声が上がりました。

このような生き物採集を通して、在来種が減っていることや外来種について学ぶことによって、生物多様性を守り続けていくためにはどのような手立てが必要かを考えました。

子どもたちは、さらにもっと知りたいことを図鑑やインターネットなどを使って、調べ学習を行い、学習したことを発表しました。

(厚木市立愛甲小学校)



講師による採集方法の説明



講師による川の生き物解説



川底の生き物調査



玉川での生き物調査

トンボの里に出かけよう

吉沢小学校は、平塚市の西部に位置し、山や丘に囲まれた緑豊かな小学校です。

令和6年度は、2年生が学区探検で吉沢八景のひとつ「トンボの里」に行きました。学校から吉沢八景の散策路を歩いている途中では、多くの生き物に出会うことができました。生き物に詳しい講師の先生が、その都度、足を止めて、採集した生き物の名前や特徴などの説明をしてくれました。トンボの里に到着すると子どもたちは、池にいるヤゴを見つけ、ヤゴの様子を観察して、成長するとトンボになることを知るなど、興味深く講師の先生の話聞いていました。これから地域にある自然を大切に、生き物の誕生や成長、命の大切さを学んでいきたいと思ひます。

(平塚市立吉沢小学校)



「トンボの里」探検の様子

問合せ先

〒231-8588

神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課

横浜市中区日本大通1

電話 (045) 210-1111

(内線) 8217